# 戦略的カリキュラム

本試験合格に必要なレベルの知識を学習する、最も重要な期間です。この基礎期では初学者の方でも戸惑うこと なくスムーズに学習できるよう、まず合格に必要な知識を網羅し、しかも講義の回数は最低限にとどめるように 配慮されています。合格に必要な知識を基礎から理解することと、答案作成の基礎を学ぶことがこの時期の大き な目的です。この学習内容の理解が、合格に直結する直前期へとつながります。したがってこの時期の充実が合格 へのカギとなります。

インプットとアウトプットの

#### INPUT(講義)

バランスの良さがTACの

カリキュラムのポイントです

本試験合格のための知識 を習得するため、基本がしっ かりと身に付くような「理 解を促す授業」を心掛けて います。ムリ・ムダを省き 効率的に知識を吸収する ことが出来ます。

#### 基本講義

戦略的カリキュラムの中核 を担うのがこの「基本講義」 です。本試験突破に必要な知 識を体系的かつ効率的に修 得します。まずは「理解」す ることに重点を置いて、講義 に臨んで下さい。



## 短答式対策

#### 基本講義·法改正点講義 (行政法規)

短答式試験科目である行政法 規の知識は、この講義で完全に マスターしていきます。行政法 規に強いTACでは、複雑にな りがちな情報をしっかりと整 理して学習することが可能です。 鑑定理論につきましては、基 本講義の中で短答式試験に必

要な知識をインプットします。

そして皆様を最短距離で合格へと導きます。

の「短答答練」を行います。限られた時間 で、正しい選択肢を導き出し解答してい きます。また、過去問題集や択一問題集 を利用して、多くの問題を解いて、知識 を深めることも必要です。そして、全国 の受験生が一斉に集う「短答式全日本答 練」では、目標を上位に定めチャレンジ していきましょう。

## 短答式対策も TAC なら 万全です



## 論文式対策

演習講義

ご存知の通り、2006年度不 動産鑑定士試験からは、新た な科目「鑑定理論演習」が加 わります。演習問題に臨むに あたって必要とされる、各種 資料の整理、価格形成要因の 分析、計算価格の計算、試算 価格の調整および鑑定評価 額の決定方法について、例題 を交えながら解説していき

合格に不可欠な要素である「講師」と「教材」を効率的かつ効果的に活かすのが、TAC独自の戦略的カリキュラムです。

不動産鑑定士試験において、12年連続して最も多くの合格者を輩出したTACの実績は、このカリキュラムによって達成できたと言っ ても過言ではありません。最新の試験動向に基づいて毎年改良を続けてきたカリキュラムだからこそ、これからも変わらぬ成果を約束し

論文式試験合格のためには、理解した知識を論文という文章の形に落とし込まなければなりま

せん。基礎期で学習してきた内容について、この直前期では横断的な知識の整理を行います。また、

実際に論文を書く練習をするアウトプット・トレーニングの割合を増やします。基礎期はインプ

ット・トレーニング中心で、各科目の内容の理解を中心としています。直前期ではその知識を駆

使し、アウトプット・トレーニングを通じて理解の伴った迫力ある答案を作成する力を身に付け、

合格に向けての総仕上げを行います。基本講義で学習した答案作成に必要な基礎知識をベース

にして、応用力と実践力を養い、一気に合格レベルへと実力をアップさせます。

#### 総まとめ講義 直前的中講義

重要な基本論点を厳選し 本試験に向けて、直前の た問題・解答形式のテキ 最終チェックを行います。 ストを使用して、重要事 試験の出題予想も含めた 項の総復習を行っていき 講義で、合格可能性を一 ます。この講義で知識の 気に引き上げます。この 整理を行い、どんな出題 講義で本番に向けて万全 にも対応できる真の実力 の態勢を整えてください。 を養成します。

#### OUTPUT(答練)

講義で修得した知識を的 確に答案に反映すること ができるよう、実際に問題 に取り組むのが答練(答案 練習)です。苦手分野の分 析が、試験に強い体質づく りにつながります。

#### ミニテスト

2回目以降の講義では、前回 の講義内容についてのミニ テストを行います。インプッ トした知識をミニテストで 確認します。基礎期は、この ミニテストを必ず受ける習 慣をつけてください。

#### 応用答練

基本講義で学習した内容の 記憶・理解を確認するため の「答案練習」が応用答練で す。本格的な論文式の問題 に挑戦することで、知識を 完全なものとします。

#### 短答答練

短答答練では行政法規と鑑定 理論において、短答式試験で出 題されるであるう重要な基本 事項からの出題に、確実に得点 できる力を養います。また、出 題内容ばかりでなく、短答式と いう出題形式に慣れるという 効果もあります。

#### 短答式全日本答練

短答式試験に向けての最 後の力試しが、短答式全 日本答練です。会場受験 では本試験さながらの雰 囲気の中で受験が可能で す。内容もTACの情報収 集力により、ほぼ同等の 形での実施となります。

#### 直前答練

本試験での出題可能性の 高い良問で、論文式試験 の解答作成力を磨きます。 答練後の解説では答案作 成の上でのチェックポイ ントも説明。より得点を 取れる答案作成法を伝授 します。

直前答練・全答練でも しっかりと演習の アウトプットを行います。

#### 論文式全日本答練

全国の不動産鑑定士試験受 験生が注目する、最大規模 の公開模擬試験です。受験 者数、雰囲気と、どれをとっ ても本試験に非常に近いだ けでなく、高い合否判定の 精度も、TACならでは。合格 を確実なものにしてくださ

#### オリエンテーション講義を実施!

TACでは皆様に安心して不動産鑑定士試験にチャレンジしていた だけるよう、オリエンテーション講義を実施しています。この講義 では試験の攻略法や、TACの講義・答練の受講方法、学習方法のポイ ントなどを解説するほか、不動産鑑定士試験の最重要科目である鑑 定理論の考え方などについての講義を行います。



カリキュラムの内容につきましては、試験制度の動向に より変更させていただく場合がございます。あらかじめ、 ご了承ください。

## アクセスコース(オプションコース)

アウトプットに最適!基礎知識の定着を目的とした、アウトプット・トレ ーニングのためのオプションコースが、アクセスコースです。修得した知 識を答案に確実に反映する能力を身につけることが出来ます。各本科生と の同時受講をおすすめします。

2007年合格目標のアクセスコースは、2006年9月~2007年1月頃にかけての順次開講を 予定しております。日程・受講料等につきましては後日発表いたします。

アクセスコースはオプション講座です。そのための別途お申込みが必要となります。